



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	明治二四年
Citation	北大百年史, 史料(二), 221-244
Issue Date	1981-07-30
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/30069
Type	departmental bulletin paper
File Information	siryo2_p221-244.pdf



明治二四年

七六七 農芸伝習科規則改正に付伺

明治二十四年一月七日

教授南麿次郎

校長(印)橋口

伝習係(印)橋本(印)田中(印)鈴木(印)照井

幹事(印)佐藤

庶務係(印)あの方(印)小関

会計係(印)窪田(印)寛治

達第老号

諸規則改正ニ関スル件ニ付伺

農芸伝習科ニ関スル諸規則中實際不便ナルケ条別紙之通り御改正来
ル三月一日ヨリ御施行相成候様仕り度此段相伺候也

左ニ

御達案

農芸伝習科

諸規則左ノ通り改正シ来ル三月一日ヨリ施行ス

右相達ス

年 月 日

札幌農学校長名

一 農芸伝習科授業準則

改正

第拾八条 日課評点ハ各課目ノ勤惰評点平均数三分課業評点平均

数七分ノ比率ヲ以テ定ルモノトス

改正

一 農芸伝習科生徒舎則

第拾七条 校則第六拾九条ニ定ムル学資給与金ニ対シ左ノ物品代

及喰料ヲ支弁シ筆紙墨料トシテ其殘金ヲ支給スヘシ若シ余剩ナ

キトキハ之レヲ給セス

一 帽 二ケ年

老個

一 洋服 壹ケ年

老組

一 食料

一 農芸伝習科課程及授業時間割

改正

第一年前期

土壤論

毎週

壹時

化学原理

同

二時

土地改良法

同

壹時

農用植物性理

同

二時

実習ハ従前ノ通り

第一年後期

農具論

毎週

壹時

肥料論

同

三時

排水法及開墾法

同

貳時

果樹栽培法

同

貳時

普通植物耕種法 同 六時
特有植物耕種法 同 六時
実業ハ従前ノ通り

第二年前期

農場管理及実習 毎週 貳時
農圃測量及実習 同 壹時
動物性理 同 貳時
害虫駆除法 同 壹時
実業ハ従前ノ通り

第二年後期

農具組織 (追加) 時間 未定

〔農八九二〕

七六八 博物学会設立に付教室借用願

御 願

今般有志者相議博物学会設立仕候ニ付き毎月第三土曜日午後二時ヨリ演武場内植物学教室借用仕度候間此段奉願候也

明治廿四年一月十三日

会頭宮部金吾卿

札幌農学校々長橋口文蔵殿

〔朱書〕
願之趣許可ス

明治廿四年一月十四日

〔農八九八〕

七六九 札幌農学校官制改正の件 (勅令第六号)

朕札幌農学校官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御 名 御 璽

明治二十四年一月二十四日

内閣総理大臣伯爵山県有朋
文部大臣 芳川顕正

勅令第六号 (官報一月二十六日)

札幌農学校官制中左ノ通改正ス

第一条第二項

本校ハ当分生徒中ヨリ屯田兵士官出身志願者ヲ選ヒ屯田兵士官ニ要スル軍事上ノ學術技芸ヲ教授シ又屯田兵予備下士ニ屯田兵予備將校ニ要スル軍事上ノ學術技芸ヲ教授ス

第七条 助教十人判任トス教授ノ職掌ヲ佐ク

第八条 訓導六人判任トス農工ノ実業ヲ授クルコトヲ掌ル

第九条 舎監専任一人判任トス校長若クハ幹事ノ命ヲ承ケ生徒ノ取締ニ関スルコトヲ掌ル

第十条 書記六人判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ従事ス

〔法令全書〕

七七〇 明治二三年景況報告（二月一八日發遣）

校第一六号

第一部長へ御回答案伺

客月十五日付ヲ以テ御照会有之候北海道庁官制第十三条ニ拠リ本校ニ係ル客年之報告別紙之通り調製候ニ付御回付ニ及候条御落手有之度御回答旁此段申進候也

二月十日

校長

第一部長殿

〔別紙〕

〔前略〕

諸規則ノ改正

明治二十二年九月北海道庁令ヲ以テ校則ヲ改正セラレタルニ拠リ其主旨ニ基キ本校ニ於テ授業準則試験細則学生々徒心得舎則教官會議細則書籍館規則各学科課程及授業時間割ヲ改定ス尤モ本校ハ本科予科及農芸伝習科ノ三科ニ区別シアルヲ以テ諸規則ノ如キモ其科ニヨリテ特別ニ制定ヲ要セシナリ

校 員

本年一月ヨリ十二月迄壹ケ年間ノ校員ノ異動ヲ挙クレハ屯田兵司令部ヨリ兼務セシ教授一名ノ兼官ヲ免シ更ニ外国へ留学シ卒業ノ上帰

朝セシ者一名ヲ教授ニ新任シ道庁ヨリ本校書記ニ任セラレシ者一名又雇員ヨリ書記ニ陞叙セシモノ一名書記及訓導ニ於テ非職トナリシモノ各一名其年末現員ハ校長一人兼幹事一人兼教授八人助教七人雇外國教師貳人訓導四人兼舎監一人兼書記五人嘱托教員三人雇教員貳人雇員七人トス

学生々徒

本科学生ノ本年ニ於テ卒業者ナキハ他ノ因由アルニアラズ本校経費ノ都合ニヨリ三年間引続キ学生ヲ召募シ其翌年ハ入学ヲ許サ、ルヲ以テ三年目ニハ卒業スヘキ学生ナシ即本年ハ其年ニ当レルカ故ナリ然レトモ明年ヨリハ毎年卒業生ヲ出ス都合ナリ又予科ヨリ本科ニ入ルモノ拾貳名内學術優等ニヨリ校費生ヲ命セシモノ四名ニシテ其他ハ私費生ナリ又校費生ノ内病死セシモノ壹名アリ其年末現在学生ハ農学科四十一名工学科拾四名ニシテ總計五十五名ナリ之ヲ昨年末ノ人員ニ比スレハ十一名ノ増加ナリ

兵学科別課生貳拾四名ハ本年八月定期ヲ歴テ卒業シ當時屯田兵見習士官トシテ各屯田ニ於テ各其職ヲ奉セリ右兵学科別課生ハ客歲中屯田兵曹長免官ノモノニ特命シ屯田兵士官補充トシテ入学セシメタルモノナリ

予科生徒ノ卒業セシ者拾貳名アリ皆本科ニ入学ス又本年新ニ入学セシモノ五十一名退学セシ者十六名伝習科へ転学セシモノ一名病死セ

シモノ一名ニシテ其年末現在生徒ハ百六十三名ナリ之ヲ昨年末ノ人員ニ比スレハ式十名ノ增多ナリ斯ク生徒ノ増加セシハ全ク客歲九月校則ヲ改正シ予科ヲ以テ普通学科ヲ教授スル処ト改メタルニ基因ス又本年六月予科生徒四十七名召募セシニ応募者實ニ壹百三十二名^{〔トヤ〕}ノ多キ達セリ

農芸伝習科生徒ノ卒業セシ者式拾一名新ニ入学セシ者式十八名内給費生徒二十三名私費五名又退校ヲ命シタル者式名及退校ヲ許可シタル者式名ニシテ其年末現在生徒ハ給費四十五名私費四名ニシテ合計四十九名ナリ又本年三月農芸伝習科生徒式十五名ヲ募集セシニ応募者四十六名ノ多キニ達セリ

農芸伝習科生徒業務ノ大要ヲ掲クレハ積雪中即后学期ニ於テハ一日ヲ二分シ其一分ハ各種農業法ニ必要ナル簡易ノ農理ヲ教ヘ其一分ハ家畜ノ管理及農業ニ付帶セル種々ノ製造冬期農場ノ整理等ヲ授ケ稼穡頻繁ノ候即前学期ニ於テハ農園ノ耕圃ニ就キ専ラ実業ヲ演習シ其執業ニ際シテハ業務ノ秩序ヨリ農場經濟ニ関スル要点ヲ丁寧反復以テ生徒ニ解得セシムルヲ務メリ又開墾ノ業ハ将来本道ノ為メ生徒ノ為メ最大緊要ナルヲ以テ樹林地ノ開墾法ハ農園内ニ於テ其順序方法ヲ精密ニ実習シ又本年六月ヨリ七月ノ間交番ヲ以テ生徒ヲ夕張芋田地ニ出張セシメ草原ノ開墾法ヲ特ニ実習セシメタリ

〔中略〕

植物園付標品室

植物園ハ専ラ北海道所産ノ植物ヲ蒐集栽培シ植物學教授用并研究ノ便ニ供シ且本道産植物ノ性質ヲ一目瞭然タラシメ加フルニ有用ニシテ本道ノ風土ニ適和スベキモノハ広ク他道及海外ニ之ヲ求メ以テ本道ノ園芸林業ヲ補益セントスルヲ目的トス然ルニ從來ノ地積陝隘ニシテ其目的ヲ達スル能ハサルニヨリ本年一月中道庁ニ上請シ接続地一万六千九百五十四坪ヲ植物園ニ編入シ之ヲ試驗園樹木及灌木園ニ充ツ

本年ノ事業ハ起業ノ一端ニ過ギス則チ園内ヲ測量区劃シ通路ヲ開設シ園牆ヲ建設シ溫室ヲ新築シ及内外樹木種子ノ播種等ヲナセリ

本年夏期休業中教授宮部金吾渡島方面ニ出張シ採集シタル自生植物六十三種又札幌近傍ニ於テ採集シタルモノ三十七種ニシテ其個數ハ三百六十余ナリ

園内ノ栽培ニ係ル本道草木ノ種子百九十九品ヲ採收シタリ其量凡六百匁ナリ西洋草花ノ種子百二十九種ヲ採收シタリ其量一貫六百匁ナリ

其他試驗ニ係ル蔬菜類ノ種子二拾三種其量八貫八百四拾匁ヲ採收シタリ

本年中米國ハーバード大學附屬アーノルド樹木園ヨリ送附ニ係ハル樹木種子ハ八十三種ニシテ夫レニ對シ本園ヨリ本道産樹木ノ種子四

十五種ヲ送附シタリ

独逸国チョーセン樹木園長ドクトルデイーク氏ヨリ樹木及蔬菜ノ種子凡ニ拾種ヲ得夫レニ対シ本道産樹木種子三拾種ヲ送附シタリ

植物標品室ハ植物学教室ニ隣接シタル一室ヲ以テ充テ専ラ北海道所産ノ植物標品ヲ蒐集保存シ以テ教授上ノ参考及本道植物誌編纂ノ材料ニ供スルモノナリ

既ニ調査ヲ経備品トシテ蓄蔵シタル標品ハ四千三百五十三箇ニシテ内顕花植物四千箇隠花植物三百五十三箇ナリ

未ダ調査ヲ経サレ共備品ノ部ニ入レベキモノ大凡二千五百箇アリ内顕花植物大凡千八百箇隠花植物大凡七百箇ナリ

交換及備品補欠ノ為メ採集シタル重複品ハ大凡三千二百箇アリ右ノ内本年度ニ於テ増加シタル標品ノ箇數ハ左表ノ如シ

品 備	品 復 重		品 備		集 計
	隠花植物	顕花植物	隠花植物	顕花植物	
札幌近傍五月上 ニ於テ採句小樽館福山江差 集シタル方面ニ久遠奥尻方 モノ於テ採面ニ於テ採寄贈ノ分	二〇〇	三八八	一〇〇	三〇	總 計
	九一	二五	二九〇	五〇	
	四八〇	六五〇	千〇六十三個	七百七十一個	

教授宮部金吾[㊦]

書籍館

本館蔵置スル所ノ図書ノ総計ハ大約八千八百九拾部許ニシテ和漢書ハ屯千六百九拾七部洋籍ハ七千九拾三部トス廿二年十二月ノ現在數ニ比較スレハ和漢書ニ於テハ屯百八拾五部洋籍ニ於テハ貳百七拾八部ヲ増加セリ

本年十一月書庫ヲ東十間許ノ所ニ遷シ修繕ヲ加ヒ書籍ノ出納ヲ便ニスルガ為メ其西面ニ於テ南北三十尺東西屯拾八尺ノ洋風家屋ヲ建築シ其後ロニ三十尺ノ廊下ヲ施シ書庫ニ通シ且家屋ノ内部ヲ画シテ兩室トシ北部ヲ以テ事務室ニ充テ南部ヲ以テ閱覽室ニ充ツ

閱覽室ハ本校学生生徒ノ本館ノ蔵置書籍及ヒ雜誌ヲ閱覽スル所トス尚ホ準備完カラサルヲ以テ未タ開室セスト雖トモ廿四年ニ至ラハ速カニ実施スルノ予定ナリ

博物場

博物場ハ北海道所産ノ動植礦物等學術上裨益アルモノヲ蒐集陳列シ以テ学生研究ノ便ニ供ス其年末陳列標本ハ八千七百八十品ニシテ内本年ニ於テ増加シタルハ本校ノ採集ニ係ルモノ百六十三品寄贈ニ係ルモノ貳十六品購入セシモノ貳十三品ナリ

本場ハ専ラ学生ノ學術研究ニ供スト雖公衆ノ為メ積雪ノ候ヲ除キ毎週日水兩曜日ヲ以テ開場シ衆庶ノ縦覽ヲ許ス其開場日數七十七日ニシテ縦覽人員ハ貳万五千八百九十一人ナリ之ヲ一日ニ平均スレハ三

百三十六人余又之ヲ昨二十二年ノ縦覧人員貳万壹千九百三十二人ニ比スレハ三千九百五十九人増加セリ

〔中略〕

自明治廿三年一月一日農芸伝習科報告
至同 年十二月三十一日

本科ハ明治二十年三月庁令第八号ヲ以テ設置セラル其本科ヲ設ケラレシ趣旨ハ當時ノ報告ニ載セテ詳ナリ故ニ此ニ陳セス

本年一月一日現在ノ生徒ハ二年生（本年三月三十一日ヲ以テ卒業スヘキモノ）廿三名一年生廿三名合四十六名トス又タ本年ノ募集ニ応ジタルモノ四十六名内年齢十八年未満ナルヲ以テ願書ヲ却下セシモノ三名事故アリテ試験ヲ受ケサルモノ三名受験者四十名（給費三十名私費五名）ニシテ試験合格者給費廿二名予備科ヨリ転学セシモノ一名合廿三名私費五名惣計四十八名トス皆ナ四月一日ヲ以テ入舎セシム而シテ本年中生徒ノ變動ヲ挙クレハ卒業退舎セシモノ廿名名犯則ニヨリ退校ヲ命シタルモノ二年生二名（本年三月三十一日ヲ以テ卒業スヘキモノ）事故アリテ退校ヲ許可シタルモノ一年生給費一名私費一名（俱ニ本年募集ノ生徒）合四名即チ本年十二月三十一日生徒現在ノ員數ハ給費二年生廿三名同一年生廿二名私費生四名都テ四十九名トス

本年二月試験細則、入学試験細則ヲ新定シ授業準則、生徒心得、舎則、科程及授業時間割等ヲ改正シテ以テ益々其授業ノ方法ヲ改良シ

生徒ノ取締ヲ嚴密ニセリ而シテ一学年ヲ前後二期ニ分チ前期ハ四月一日ニ始リ十一月三十日ニ終ル後期ハ十二月一日ニ起リ三月三十一日ニ至ル聊カ其業務ノ大要ヲ掲クレハ積雪中即チ後期事業ノ閑隙ナル時ニ於テハ一日ヲ二分シ其一分ハ各種農業法ニ必要ナル簡易ノ農理ヲ講習シ其一分ハ家畜ノ管理及ヒ農業ニ附帶セル諸々ノ製造冬期農場ノ整理等ヲ教授ス稼穡ノ頻繁ナル期即チ前期ニ際シテハ農園ノ耕圃ニ就キ実業ヲ演習シ日中ハ十二時三十分ヨリ午後一時三十分迄諸般ノ農理ヲ講明ス而シテ執業スルニ當リテハ事々物々叮嚀ニ説明ヲ下シ生徒ヲシテ能ク之レヲ了解セシメ且ツ業務秩序ノ要点ヲ明瞭ニシ農場經濟ニ関スル要領ヲ會得セシムルヲ務メタリ

本年中伝習シタル事項ノ概略ヲ挙クレハ即チ前期ニ於テ土壤論、化学原理、普通作物耕種法、農場管理及実習、農圃測量及実習、動物生理等ヲ講習シ実地ニアリテハ耕牛馬使役農具使用、家畜飼養、排水及開墾法、乾草法、植物耕種及收穫貯藏法、苗床仕立及移植法、果樹栽培法、種用植物栽培及收穫法、養蚕法、製乳法、搾乳法、果実糖藏法、「ヂヤム」「ゼレー」製造法、味噌製造法、牛馬羊豚畜殖法、特有植物耕種法、後期ニ於テハ農具論、肥料論、排水及開墾法、農用植物生理、果樹栽培法、害虫驅除法、農業經濟、牧畜論、病畜治療法及実習、蹄鉄法及実習等ヲ講習シ実地ニアリテハ搾乳法、牛酪、煉乳、粉乳、製造法、薰腿及塩肉製造法澱粉製造法、亜

麻大麻製造法、家畜飼養法、家禽飼養法、農馬具修繕、麵麴製造法、耕牛馬使役、農具組織、苗床仕立及移植法、等ヲ実習シ大ニ生徒ノ熟達ヲ務メタリ且ツ開墾ノ業ハ将来本道ノ為メ生徒ノ為メ最緊要事ナルヲ以テ林木地ノ開墾法ハ農園内ニ於テ其順序方法ヲ精密ニ実習シ又本年六月下旬ヨリ七月中旬ノ間ニ於テ生徒ヲタ張学田地ニ行リ草原ノ開墾法ヲモ実習セリ

〔後略〕

〔農五八五〕

七七一 新渡戸助教教授に任叙の儀具狀^{〔注〕}（三月六日起案）

親展

新渡戸助教教授ニ任叙ノ義具狀按

札幌農学校教授

判任官一上等級俸

奏任官四等上級俸

札幌農学校助教新渡戸稲造

右者明治十九年已来独逸国ボン、ハレー、ベルリン等ノ諸大学ニ於テ農学、農政、経済等ニ関スル諸学科研究今般ドクトルノ学位ヲ受ケテ帰朝候処本校農学科教授上必要ニ付頭書ノ通任叙賜俸相成候様仕度此段具申候也

長官宛

校長

〔注〕 新渡戸稲造は同年三月三一日に教授に任命され
た。

〔農四三三〕

七七二 農芸伝習科学資支給金額改正に付上申

（三月一〇日起案）

学第三号

校則改正之義ニ付御上申案伺

本校農芸伝習科生徒学資トシテ一人壹ヶ月金参円五拾錢宛給与相成居候処経費之都合有之到底右金額支給之目途無之ニ付校則第六十九条左案之通り御改正相成候様仕度此段上申仕候也

月 日

校 長

長官宛

御改正案

北海道庁令第 号

明治廿二年九月十九日北海道庁令第五十六号札幌農学校々則第六十九条中学資トシテ一ヶ月金参円五拾錢トアルヲ金参円ト改ム

但明治二十四年四月一日ヨリ施行スヘシ

〔農四二五〕

七七三 教授及び助教以下事務員俸給通減の件

受信人

発信人

東京京橋区山城町山下館

札幌農学校長

永山長官

橋口文蔵

親展^{ニカ}

印(佐藤)

本校教授俸給通減ノ義ハ御出発の際御裁可ヲ得タル通御決行ヲ仰キ且ツ助教已下事務員夫々俸給通減の義モ実行セサレハ本校廿四年度ノ經濟ヲ維持致難キニ付右併セテ特ニ至急御裁可ヲ仰ク

三月廿五日

〔農四三三〕

七七四 札幌農学校教官俸給の件(勅令第四一号)

朕北海道庁所轄札幌農学校教官俸給ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十四年四月十一日

内閣総理大臣伯爵山県有朋
内務大臣伯爵西郷從道

勅令第四十一号(官報四月十三日)

北海道庁所轄札幌農学校ノ教官ニハ其授業ノ時間及学科ノ難易等ニ

依リ明治十九年勅令第六号高等官官等俸給、令官等相当俸、給以下ノ額ヲ支給スルコトヲ得

〔法令全書〕

七七五 校則改正等に関する教官會議議事要領

教官會議々事要領

四月二十日午后一時三十分教官會議ヲ教官扣室ニ開ク
広井、宮部、新渡戸、杉、大嶋、南、吉井之七教授手嶋、小寺、山崎、橋本、中根之五助教出席佐藤幹事議事ヲ整理ス

決議事項

(注)

一 広井、杉兩教授ヨリ提出之議案ニ對シテハ各学科共ニ調査ヲ要スルヲ以テ農学科工学科子科及農芸伝習科教官中ヨリ各々二名之委員ヲ互選シ校則修正之取調ヲ為サシムルコト

一 宮部、新渡戸、須藤、南、吉井、之五教授ヨリ提出議案現行ノ農学科課程ニ扨レバ各科目授業ノ順序ハ實際教授上不便ヲ感スルコト不尠ニ付委員ヲ選定シテ調査ヲ要スル件ニ對シテ農学科關係之總教官ヲシテ調査委員タラシムルコト

一 本校学生中当区私立学校教授ノ嘱托ヲ受ケ復習時間ヲ消費スルモノ頗ル多ク為メニ學術進歩並ニ身体健康上ニ障碍ヲ生スルコト^(ノヤヤ) 尠ナカラスト認定シ万不得止場合之外ハ私立学校等ノ嘱托教員タ

ルコトヲ差止ムルコト

一 本校々舎内衛生上調査及監督之為メ教官之互選ヲ以テ三名ノ臨時衛生委員ヲ選舉スルコト

右選舉之結果左之如シ

教授 広井 勇

教授 新渡戸稲造

教授 須藤義衛門

〔注〕 広井、杉兩教授提出議案書「札幌農学校々則改正

案」・「札幌農学校々則改正ノ義ニ付上申理由書」

を略す。なお、七七八を参照。

〔農八九二〕

七七六 夕張学田地地所確定の儀上申（五月二十九日発遣）

学第一〇号

夕張学田地々所確定ノ義御上申按

去ル明治廿二年十一月廿日付学第六四号ヲ以テ夕張郡ノ内別紙甲号

略図^{〔注〕}面朱線内ノ場所ニ於テ荒蕪地四百万坪余本校学田地トシテ御下

付ノ義上請昨廿三年四月廿九日仮リニ御引渡ノ義御指令相成実地概

測致候処地積過剰ニ付乙号略図^{〔注〕}面朱線内ノ通り「ウエンベツ」「ア

ノロ」川沿ノ両所ニ於テ総地積凡ソ三百九拾六万貳百坪本校学田地

ニ確定致候間此段上申仕候也

年 月 日

校長名

長官宛

〔注〕 略図面（甲号・乙号）を略す。

〔農四二五〕

七七七 本科学生私塾等での教授方禁止の達

達第八号

学生へ御達案伺

本科学生一同

從來私塾其他学校等ノ依頼ニヨリ学科ノ余暇ヲ以テ教授シ来リ候輩有之候処右ハ各自ノ学科ニ影響ヲ来シ候事渺カラサルノミナラズ衛生上大ニ関係ヲ生シ候ニ付来ル九月ヨリ右等ノ依頼ニ応シ教授スル事ヲ禁ス

但万不得止事情アルモノハ其事情ヲ詳記シ保証人連署願出テ校長ノ許可ヲ得テ従事スヘシ

右相達ス

二十四年五月

札幌農学校

〔農八九二〕

七七八 校則改正に関する各科委員會議事要領

第一七四号

校長

教官會議書記(中根)

幹事(佐藤)

明治廿四年六月三日広井梶両教授提出本校々則改正案審議之為メ相
開候各科委員會議事要領別紙之通りニ候条此段上申仕候也

〔別紙〕

六月三日午後二時教官扣室ニおゐて本校々則改正案審議之為メ各科
委員會ヲ開ク

農学科委員

新渡戸教授

同

南 教授

工学科委員

広井 教授

同

梶 教授

予科委員

大嶋 教授

同

中根 助教

農芸伝習科委員

南 教授

同

橋本 助教

橋口校長佐藤幹事出席橋口校長議事ヲ整理ス

議決事項

一 広井梶両教授提出本校々則改正案ノ決議ハ一ヶ年之間之ヲ延期ス
ルコト

付一 校名改正に付上申

校名改正之義ニ付上申

本校之義ハ去ル明治九年設置以来札幌農学校ト称セシハ専ラ農業ニ
関スル學術技芸ヲ教授スルノ目的ニ出タルニ可有之然ル処去ル明治
十九年本校官制ヲ改定シ組織ヲ更正シ更ニ工学科ヲ増置セラレタル
モ尚単ニ札幌農学校ノ旧名ヲ襲用相成居候為メ札幌農学校ハ外觀上
工学科ヲ含蓄セサルモノ、如ク且ツ該科修業ノ学生モ自然農学科ハ
正科ニシテ工学科ハ副科タリト云フガ如キ迷想ヲ抱キ勉学之氣力ヲ
挫折スルコト少ナカラズ小官等工学科教務ニ従事スルモノニ於テモ
憂慮之至リニ存候就テハ校名ヲ札幌農学校ト御改称相成候ベ農学
科工学科共物括仕候名称ニシテ其当ヲ得タリト存候間何分之御詮議
ヲ以テ速カニ校名改正相成候様御取計相成度此段上申仕候也

明治廿四年二月廿一日

札幌農学校

教授 杉 文三(印)

同 広井 勇(印)

札幌農学校校長橋口文蔵殿

付二 校則改正に付上申

本校々則改正之義ニ付上申

本校々則之内工学科ニ関シ教務施行上實際差支候廉モ不尠修正刪補を要スベキ条項モ有之候様被存候ニ付左案之通り御改正相成候様御取計相成度此段上申候也

明治廿四年三月十六日

札幌農学校教授 杉 文三^印広井 勇^印

札幌農学校々長橋口文蔵殿

〔別紙一〕

札幌農学校々則改正案

第八条 削除

第四十三条 学期成績ハ学期中履修セシ学科ニ付学期之終リニ於テ之レヲ按ジ及第及落第ヲ判定スルモノトス

但二期引続キ落第タルモノハ第三十九条ニヨリ処分ス

第四十七条 削除

第四十八条 学期ノ諸科平均評点ハ各科学期之評点ニ其關係ノ輕重ニヨリ規定シタル割合ヲ乗シタルモノヲ合シ割合之總數を以テ除シ之レヲ得ルモノトス

第四十九条 削除

第五十条 諸科平均評点數六十以上ニ及フト雖トモ各科学期ノ評点數六十未満ナルトキハ再試験ヲ施行ス

但再試験ニ於テ得タル評点數尚ホ六十未満ナルトキハ落第トス

第五十一条 削除

第五十四条 工学科ニ於テ定規之課程ヲ卒リタル者ニハ其學業成績八十点以上ニハ第一等卒業証書八十点以下七十点以上ハ第二等卒業証書七十点以下六十点以上ハ第三等卒業証書ヲ授与ス

〔別紙二〕

札幌農学校々則改正之義ニ付上申理由書

札幌農学校々則改正之要旨ハ時運之進度ニ応シ教務之改良進捗ヲ図ルニ在リ現行校則ハ明治廿二年ノ改正ニ係ルト雖トモ其基礎ヲ明治九年制定之旧則ニ取り明治十九年本校官制ノ發布ニヨリ翌廿年其組織ヲ改更シ工学科ヲ増設シタルモノナルヲ以テ其結構永ク農学科工学科併設ノ下ニ保続スベキニ非ズ是レ校則之改正止ムベカラザル所以ナリ

第八条 工学科ニ於テハ学年之前後ニヨリ學術若クハ実務ヲ専修

セシムルノ別ナシ是レ工学科ニ於テ本条ヲ削除スル所以ナリ

第四十三条 本条修正ノ理由ハ工学科ニ於テ教授スル学科ハ概ネ一学期ヲ以テ終リ学年ニ亘ラズ故ニ学年成績ヲ按スルノ要ナシ

第四十七条 本条ノ削除ハ第四十三条ノ修正ヨリ生スル自然之結

果ナリ

第四十八條 本條修正ノ理由ハ学科ノ課程時間ハ工学科ニ對シ其關係之輕重ヲ指示スルモノニアラズ則チ特ニ其割合ヲ規定スルヲ可トス

第四十九條 本條ノ削除ハ第四十三條ノ修正ヨリ生ズル自然之結果ナリ

第五十條 現行校則ニ拠レハ諸科平均評点数六十以上ナルトキハ各科評点数六十未満ノモノアルモ二科以下ハ尚ホ進級セシムルコトヲ得然レトモ學生ニシテ某学科ヲ落第スルトキハ殆ンド其科を修メサルニ均シク這般ノ學生ヲシテ其備課程ヲ經過セシムルハ不当ナリト謂フベシ宜シク學生ヲシテ落第シタル学科ヲ再修セシムルノ道ヲ求メザルベカラス是本條ヲ修正シタル所以ナリ

第五十一條 本條ヲ削除シタル理由ハ學生ヲシテ落第シタル原級ノ課程ヲ再修セシメ以テ修學ノ便ヲ計ルニアリ

第五十四條 現行校則ニ拠レハ定規ノ課程ヲ卒リタルモノニハ學業ノ成績如何ニ關セズ同一ノ卒業證書を授与スルヲ以テ更ラニ其學力ノ差等ヲ辨別スルコト能ハス則チ本條ヲ修正シタル所以ハ卒業證書ニ拠リテ學力ノ優劣ヲ認定スルニ便宜ナラシメ又學業ノ上達ヲ鼓舞奨励スルニアリ

〔農八九二〕

七七九 予科課程改正の儀伺

第一九八号

明治廿四年七月十日

校長印(橋口)

幹事印(佐藤)

予科課程改正之義伺

予科課程別紙草案之通り改正相成候様致度此段相伺候也

改正予科課程草案

第一年

倫理

和學及漢學

英學讀法及訳解
綴字書取習字

万国地理

東洋歴史日本
支那

數學

習字

体操

第二年

倫理

大島教授印

一 時
一 時
一 時
二 時
二 時
二 時
二 時
四 時
四 時
四 時
四 時
六 時

和学及漢学	七時	英学 讀法及訳読 作文	四時六時
英学 讀法及訳読 文法及作文	八時	地文学	二時
万国地理	二時	代数及幾何学 代数 幾何学	二時五時
万国歴史 上古 中古	一時	古代史	二時
数学及代数学	五時	植物学	三時
自在画法	一時	生理学	二時
体操	二時	自在画法及用器画法	二時半
第三年		兵式体操	二時
倫理	一時	第五年	
和学及漢学 和学 漢学 作文	五時	倫理	一時
英学 讀法及訳読 文法及作文	四時七時	漢学 漢学 作文	二時三時
理化 化学原理 物理学初步	一時二時	英学 英文 作文	四時五時
万国歴史近世	二時	論理	一時
代数及幾何学 代数 幾何学	三時五時	近世史	二時
衛生学	二時	三角術	四時
自在画法及用器画法	二時半	重学	二時
体操	二時	動物学	三時
第四年		無機化学	三時
倫理	一時	自在画法及用器画法	二時半
漢学 漢学 作文	二時三時	兵式体操	二時

改正予科課程用書配当一覧

第一年級

倫理	落合	和漢学	英学	歴史	数学	地理	英学	地理	歴史	数学	画法
			サンダルトン スミントン	嵯峨市村 寺尾	アツプルトン	アツプルトン	サンダルトン スミントン	アツプルトン スミントン	スミントン スミス		
			日本文典 和文読本 日本外史	支那史綱 日本史綱 算術教科書	小地理書		第三読本 同英語初歩 小文典	大地理書 万国史	小代数学	自在画法	

第二年級

第三年級

倫理	和漢学	英学	歴史	数学	物理学	化学	生理学	画法	倫理	漢学	英学	歴史
		サンダルトン スミントン	スミントン	スミス ウキルソン	ステワート	ロスコ カツタル		平瀬	第四年級	サンダルトン アルビング	マハツビイ ウキルキン フヘツフン クレイトン	
		通鑑集要 日本世記	万国史	大代数学 平面幾何学	物理学（プライマル）	化学（同）	衛生学	自在画法 用器画法		文章軌範 第五読本 スケツチブック	グレイキ古史 ローマ古史 ローマ史	

数学	スミス	大代数学
地文学	ガイキイ	平面幾何学
植物学	グレイ	立体幾何学
生理	カツタル	野外及校内用植物学
画法	平瀬	生理学
倫理	第五年級	自在画法
		用器画法
漢学	孟子	
英学	アンダアウード ジエボン	英文学 論理学
歴史	チエンバル	近世史
数学	ケシイ	平面三角術 球形三角術
物理学	ブレイキイ	力学
化学	レムセン	無機化学
動物学	マカリスタル	無脊動物学 有脊動物学
画法		自在画法 用器画法

〔農八九二〕

七八〇 札幌農学校官制改正の件（勅令第一四二号）

朕札幌農学校官制ノ改正ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御 名 御 璽

明治二十四年七月二十四日

内閣総理大臣伯爵松方正義

文 部 大 臣伯爵大木喬任

勅令第四百十二号（官報七月二十七日）

札幌農学校官制

第一条 札幌農学校ハ北海道庁長官ノ管理ニ属シ農業ニ関スル學術
技芸ヲ教授スル所トス

本校ハ当分生徒中ヨリ屯田兵士官出身志願者ヲ選ヒ屯田兵士官ニ
要スル軍事上ノ學術技芸ヲ教授シ又屯田兵予備下士ニ屯田兵予備
將校ニ要スル軍事上ノ學術技芸ヲ教授ス

第二条 札幌農学校ニ左ノ職員ヲ置ク

学校長	一人	奏任
教授	八人	奏任
助教授	十人	判任
舎監	專任一人	奏任
書記	六人	判任
技手	六人	判任

第三条 学校長ハ北海道庁長官ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ統督ス

第四条 教授ハ生徒ノ教授ヲ掌ル

助教授ハ教授ノ職掌ヲ助ク

第五条 舎監ハ学校長ノ指揮ヲ承ケ生徒ノ取締ニ関スル事ヲ掌ル

第六条 書記ハ上官ノ命ヲ承ケ庶務会計ニ従事ス

第七条 技手ハ上官ノ命ヲ承ケ学科ニ関スル技術ニ従事ス又特ニ授業ヲ助ケシムルコトアルヘシ

第八条 北海道庁長官ハ校務上ノ須要ニ依リ文部大臣ノ許可ヲ得テ

教官ノ外外国教師ヲ雇入ル、コトヲ得又学校長ハ北海道庁長官ノ許可ヲ得テ俸給予算定額内ニ於テ講師ヲ嘱託シ又ハ雇員ヲ使用スルコトヲ得

第九条 北海道庁長官ハ校務上ノ須要ニ依リ商議委員会ヲ設クルコトアルヘシ其委員ハ北海道庁長官之ヲ命ス

附 則

第十条 本令ハ明治二十四年八月十六日ヨリ施行ス

〔法令全書〕

七八一 札幌農学校高等官俸給の件（勅令第一四三号）

朕茲ニ札幌農学校高等官俸給ノ件ヲ裁可ス

御 名 御 璽

明治二十四年七月二十四日

勅令第四百十三号（官報七月二十七日）

第一条 学校長舎監ノ年俸左ノ如シ

学校長 二千元

舎監 五百円

第二条 教授ノ年俸ニ関シテハ本年勅令第三百三十九号帝国大学文部

省直轄諸学校及図書館高等官俸給令第二号表中文部省直轄諸学校

教授年俸表並第三条第四条ヲ適用ス

附 則

第三条 本令ハ明治二十四年八月十六日ヨリ施行ス

〔法令全書〕

七八二 予科卒業生の資格に付指令

札幌農学校長橋口文蔵

明治二十四年一月廿九日付学第二号上申予科資格ノ件ハ別紙文部大

臣指令ノ通り心得ヘシ

明治廿四年八月十二日

北海道庁長官渡辺千秋

印

〔別紙〕

卯專甲五七号

北海道庁

本年二月五日付第七八号札幌農学校予科資格之義ニ付上請ノ件ハ左ノ通心得ヘシ

文官試験試補及見習規則ニ関シテハ明治二十年三月改正ノ規則ニ依リタル以後ハ官立府県立中学校ト同等ナル官立学校ト認ム
徴兵令ニ関シテハ独立ノ学科ニアラサルヲ以テ中学校ノ学科程度同等以上ト認ムルノ限ニアラス

明治二十四年七月三十日

文部大臣伯爵大木喬任

付 予科卒業生の資格に付上申（一月二十九日発遣）

学第二号

本校予科資格之義ニ付御上申案伺

本校予科ハ単ニ本科ニ入ルノ楷梯ナルノミナラス当道之子弟ニ普通ノ学科ヲ教授シ兼テ実業ニ就カント欲スル者ノ為ニ農工ノ実業教育ヲ授クルニアルヲ以テ其学科程度ハ府県立中学校ト同等已上ノモノト被存候得共其資格確定致シ居ラサルヨリ予科卒業者ニシテ往々社会之信用上怪疑有之候ノミナラズ明治二十年七月二十三日勅令第三十七号文官試験試補及見習規則并ニ同二十二年一月二十一日法律第一号徴兵令ニ大關係ヲ生シ候ニ付本校予科ヲシテ中学校ノ学科程度

ト同等以上ノ資格アルモノト御認定相成候様仕度右御裁可之上ハ其筋へ御稟議相成度該科課程相添へ此段上申候也

年 月 日

校 長

長 官

札幌農学校予科ニ於テ修業スヘキ学科

一 倫理

人倫道德ノ要旨

二 国語及漢文

講読 作文 書取

三 英語

読方 訳解 書取 作文
会话 文法 修辭 反訳

四 農業

耕種 養畜 園芸

五 地理及地文

日本地理 万国地理
地形地理

六 歴史

日本歴史 漢土朝鮮歴史
万国歴史 近世史

七 数学

算術 代数 幾何 三角術

八 博物

大意

九 理化學

大意

十 習字

楷行草 三体

十一 図画

自在画法 器械画法

十二 唱歌

单音 複音

十三 体操

普通体操 兵式体操

〔農四二五〕

七八三 佐藤昌介校長心得任命に付届

学第一七号

今般仕私命令官橋口文蔵札幌農学校長ヲ免セラレ札幌農学校教授佐藤昌介札幌農学校長心得ヲ命セラレ候間此段御届仕候也

廿四年八月十七日

札幌農学校長心得

札幌農学校教授佐藤昌介

長官宛

〔農四二五〕

七八四 農学教師米国より雇入に付上申

号外

外国教師御雇入之義ニ付御上申案伺

本校雇米国人農学教師アーサー・エーブリガム義本年十二月十八日ヲ以テ雇滿期ニ相成候処其后任教師御雇入ノ義ニ付テハ兼テ其筋ニ於テ帝國議會ノ議決ヲ被經候次第モ有之義ト存候得者此際米国ヨリ更ニ御雇聘相成候様仕度年俸ノ義ハ金參千參百五拾円支給相成年限ノ義ハ明治二十五年一月一日ヨリ向三ヶ年間ト致度就テハ条約第一条日本東京ニ着到シタル日ヨリ三ヶ年云々ヲ日本東京ニ着到シタル日ヨリ明治廿七年十二月三十一日即チ西曆千八百九十四年十二月三十

一日ト改メ同第二条旅費金四百五拾円ニ付キ日本東京迄ノ旅費云々トアルヲ日本札幌迄ノ旅費ト改メ同第八条尤モ日本政府ハ日本ヨリ云々トアルヲ尤モ日本政府ハ日本札幌ヨリト改メ同第九条此約定ヲ遵奉シ三ヶ年間云々トアルヲ此約定ヲ遵奉シ明治廿七年十二月三十一日即チ西曆千八百九十四年十二月三十一日ト改メ同条中三ヶ月中ニ云々ノ下ニ日本札幌ヨリノ六字ヲ插入シ其他執務上ニ関スル事項ハ同一ノ約定ニテ御雇入相成度依テ右条約書写日本文英文各宅通相添へ此段上申仕候也

追テ本件ハ至急ヲ要スル義ニ付御裁可ノ上ハ速ニ其筋へ稟議相成度此段副申候也

明治廿四年九月十八日

校長心得

長官

〔農四三三〕

七八五 農工両学科課程改正の儀伺

第一九九号

廿四年十月十一日

校長印(橋口)

幹事印(佐藤)

農学科、工学科及予科課程及授業時間割改正ヲ要スル廉不勘教官上申ノ次第も有之別案の通改正相成可然哉

農学科課程時間割改正案

每週午前
午後

Figure 1

六

七

四

[Home](#)
[About Us](#)
[Contact Us](#)

www.elsevier.com/locate/jmb

[illegible]

計
計
計
計
計
計
四

四

六

五

Keywords:

五

 Springer

計

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

六

五

[Download](#)
[Report](#)
[Print](#)

五



計



四

五

四

[English](#)
[Français](#)
[Español](#)



独逸語
練兵

二

二

一 水産論

一 独逸語

計 二〇 一〇

一 練兵

第三年前期

一 農場管理及普通作物論

四

一 農業実習

六

一 日本農業

二

一 動物生理

五

一 農業經濟論

四

一 山林論

三

一 独逸語

二

一 練兵

二

計 二〇 一〇

一 卒業論文

第三年後期

一 特有農作物及菓樹栽培論

五

一 農業実習

六

一 日本農業

二

一 昆虫学及養蚕論

三

一 農業史一斑

一

一 動物飼養論

三

第四年後期

一 家畜論及家畜管理

三

一 殖民史

二

一 獸医学

三

一 農業実習

臨時

一 練兵

二

一 卒業論文

計 一九 一一

第四年前期

一 特別農業論及家畜論

四

一 農業実習

六

一 農政

四

一 獸医学

四

一 農産製造論

二

一 練兵

二

計 一四 八

工学科課程及授業時間割改正案				計	
第一年				八 二	
解析幾何学	毎週	五時	一	測量術	三時
画法幾何学及実習		八時	一	測量及製図	六時
無機化学及分析		七時	一	物理学	五時
地質学		四時	一	星学	三時
英文学		二時	一	独逸語	二時
独逸語		二時	一	練兵	二時
練兵		二時	一	応用重学	七時
第一年後期				建築用材	三時
微分		五時	一	物理学	二時
測量術		三時	一	經濟原論	三時
測量及製図		六時	一	練兵	二時
物理学		五時	一	独逸語	二時
英文学		二時	一	第三年前期	
独逸語		二時	一	応用重学	五時
練兵		二時	一	測地学	三時
第二年前期				道路及鐵道	五時
積分		五時	一	道路及鐵道製図	六時
			一	運輸及交通論	二時

—	独逸語	二時
—	練兵	二時
—	第三年後期	
—	橋梁	四時
—	石工及基礎	四時
—	橋梁計画及製図	五時
—	石工計画及製図	五時
—	造家	三時
—	家屋計画及製図	三時
—	器械学	三時
—	独逸語	二時
—	練兵	二時
—	第四年前期	
—	橋梁	三時
—	橋梁計画及製図	五時
—	河港改良及運河	五時
—	衛生工学	五時
—	水利工事計画及製図	五時
—	工業史	三時
—	練兵	二時

第四年後期

—	衛生工学	三時
—	電気工学大意	二時
—	工事計画及製図	八時
—	卒業意匠	

〔注〕 予科課程改正案を欠く。

〔農八九二〕

七八六 北海道庁技手小圃虎五郎外二名へ講師嘱託依頼に付

回答

乙第二四〇三号

農学校本科及農芸伝習科生徒へ地質、動物生理、土壤学之教授不足之趣ヲ以テ本庁在勤技手小圃虎五郎同石川貞治同横山壮次郎へ講師嘱託致度ニ付支障之有無御内議了承右ハ一週一二時間位之授業ニ有之候ハ、事務差操御依頼ニ応シ可申此段及御答候也

明治二十四年十一月四日

遠藤内務部長 印

佐藤農学校長心得殿

〔農四三三〕